

ハイテク機器がすっかり浸透してしまった日本だが、意外や意外！ちょっとした骨董ブームなのである。そう言えば、各誌で古民家特集を組んだり、骨董・西洋アンティーク本も数多く出版されている。どうやら古い物が見直されてきている様だ。

ボクも雑誌の取材で昨年末〔富岡八幡宮骨董市〕に出掛け、今年に入ってからも〔第7回東京ビックサイト骨董ジャンボナリー〕〔東郷の杜能美の市〕〔第1回横浜骨董ワールド〕等、東京近郊の骨董市に毎月足を運んでしまった。

さて、ドーム(室)内で行うものは時間が決まっているが、神社の境内で開かれる昔ながらの骨董市は朝早く出掛けないとイ物がなくなってしまう...と言うより二時頃から早々と片付け出すのである。早起きはやっぱり特と言う事か。それにしても早朝の取材は文筆者にとってはホント地獄なんです...。しかし仕事というのを除いても結構楽しい。以下、4骨董市で手に入れた物。システム手帳2冊 1950～1960年代のドウボーイ(米国の冷凍食品のキャラクター)のソルト&ペッパー・1974年製のフンブン&ポッパーのソフビ人形(ドウボーイの仲間らしい)・昔のジレット社の両刃シェーバー・1970年代以前の国産木製テニスラケット・1970年代のSTデュボンのボールペン等。骨董と言うには新しい物が多いが、無機質な室内に、ほのほのとするインテリアになっているのである。ちなみ1割から2割は確実に値切れます。

倉野路凡 くらのはん

【ファッションライター&コラムニスト】

1965年生まれ。モノ・マガジン、ウォッチアゴゴ(節約時計術・連載)、一個人、メモ男の部屋(ろはんの小引出し・連載)等 ライターとして活躍中

It's my style



昨年、小モトライフがプロデュースしたカフェ「村田堂」のオーナーであり、最近では環境問題にも真剣に取り組まれ、昔の様な美しい街にしよと活動中の梅田さんにお話を伺いました。

また、人間の魂と密接な関係があると言われ、悲しみに沈んでいる人、メラソリックな人はマツの側にいると安らぐ事が出来るそうです

日本三景の主役である【マツ】はどうか。ケルト人(現在のアイルランド)はマツの事を『炎の木』と名付けました。タイマツを『松明』と書く事で分かる様に、マツは樹脂が豊富で大変よく燃えます。更にマツのエッセンシャルオイルをアロマオイルに使用すると空気をきれいにする。

日本の銘木【ヒノキ】は火を起す為に用いられた事から『火の木』と呼ばれました。ヒノキの樹脂には強い香りがあり、心身をリラックスさせてくれます。この樹脂には天然の防虫・殺菌効果があり、腐りにくくシロアリの寄せ付けられないので建物の基礎や構造材に適しています。【ヒバ】も木材を腐らせる菌に対して強力な殺菌力を持ちシロアリの防く効果のあるヒノキチオールを多く含みます。防腐蚀性・耐久性に優れている事から、土台・浴室・キッチン等の水まわりに適しています。このヒノキチオールは、精神安定・疲労回復に良いとされています。

ヒノキ・ヒバ・マツ



癒しの効果

木の持つ触覚的な癒し効果は科学的にも証明されています。木を見たり触ったりした時、適度な粗さ感が人に自然な印象を与えて安心で快適であると感じ、逆にアクリル・ガラス・アルミなどに触れると平滑で人工的、危険で不快な印象を与えます。実際に金属や木に触れた時の脳波や血圧が、どの様に変化するか調べた所、金属やプラスチックとは対照的に、木に触れると血圧が低下し、また心地良さを示す脳波状態が観測されています。木の触り心地は人に『自然』『安心』を与えリラックスした状態を作り出します。年輪の間隔にも【1/fのゆらぎ】と言った物が存在します。【1/fのゆらぎ】とは音楽で言うラジオのノイズの『ザザ...』と言った音と、メトロノームの規則正しい音との丁度、中間に当たり不規則さと規則正しさの調和した状態で、その中でも人間の感覚を刺激し、心地良さと活力を生む周波数です。自然界の音・風・光波等は全てゆらいでおり、人に心地良さを与えます。人の快感を刺激するのは、呼吸や心拍リズムが【1/fのゆらぎ】になっている為に外部のゆらぎと同調・共鳴するからと言われている。木目のゆらぎ・木の色の節のある木は人に自然で感じの良い印象を与え、木の表面の凹凸は深みと味わいを与える事がわかりました。そして室内で木材の露出部分が増すと共に暖かい・和む・自然と言った印象も増していきます。

木という繊細で自然の温もりのある素材と付き合う事で人や物に対して優しく接する習慣が身に付き、暖かな気持ちも育っていくのではないかとされています。

幼い子供に木製とその他の素材で出来たおもちゃを選ばせると、木製のおもちゃを選ぶケースが多いそうです。また、最近では木造校舎を再び...という動きがあります。木には子供たちの精神状態にも良い効果をもたらすという研究発表がなされています。もともと生き物である木が、人間の本質的な部分に語りかける何かを持っている一つの例であると言えるでしょう。

その他、鉄筋コンクリート校舎で学ぶ子供達に比べ、木造校舎では神経質や情緒不安定、攻撃的な子供の割合が小さく、インフルエンザで学級閉鎖された割合も半分という調査報告まで出ています。

子供と木の関係



おすすめサイト

- 長野県・木のオモチャ『銀河工房』
<http://www.avis.ne.jp/~g-k-toys/>
- 綾部市・いのうえまさる『村の木工屋』
<http://www.d5.dion.ne.jp/~daku/>

人と家とのいい関係...人にやさしい自然素材

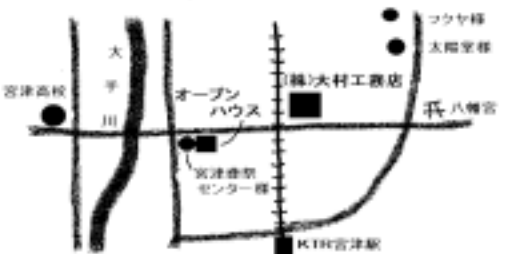
ハーモニーライフは、自然の素材と昔ながらの知恵そして快適に生きるための感性、工夫、技術をもって、暮らし方から考える快適空間づくりをめざしています。さて今回は、『人にとって“家”とは?』『心地よいくらして何でしょう?』というお話しから、見直されてきた自然素材についても触れてみたいと思います。そして、皆様のご意見も聞かせていただき勉強会と座談会形式で楽しく開催いたします。心よりご参加お待ちしております。

日時 : 4月27日(土) 1回目 午後1時~ / 2回目 午後3時半~
場所 : ハーモニーライフ オープンハウス (宮津市宮村地内)
定員 : 各10名程度 (お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承下さい。その際、折り返し御連絡させていただきます。)

お申込み方法 : お名前、ご住所、電話番号、参加希望時間、人数をご記入の上、お電話・FAX・Eメール・ホームページ・ハガキでお申し込み下さい。
※切り 4月20日(土)必着でお願い致します。

~~~~あ と が き~~~~  
ハーモニーライフは、地元MIYAZUから暮らしに関するプロデュースと情報発信する会社です。『どんな暮らしがしたいか?』『どうしたら夢を形に出来るのか?』いろいろな想いをカタチにする事こそがハーモニーライフの使命だと感じています。と言いましても硬苦しくなく、季節を感じたり、リラックスできたり、綺麗と感じたり、暮らしやすかったり...  
そんなシンプルだけど心地良い暮らしづくりを提案しています。また、ホームページを是非ご覧いただき、ご意見を聞かせてください。  
アドレスは表面に大きく書いています。  
スタッフ一同

### MAP



### ハーモニーライフ

Produced by OOMURA B.C.O  
〒626-0033 京都府宮津市宮村 1123  
TEL 0772-20-2808 FAX 0772-22-6821  
E-mail:oomura@harmony-life.com



営業時間  
8:00~20:00  
定休日は、月曜日

二十一年程前、東京銀座にてテラーを営まれ、当時は三船敏郎さんや林家三平さん等、有名人を顧客に持たれお付き合いがあったそうです。その後、お父様の後を継がれるため、ふるさと峰山町へ帰郷されました。  
その梅田さんがなぜカフェを始められたのでしょうか...?  
『衣料品は売れ残れば自分が良いと思って仕入れた商品でも見切り販売になってしまいます。こんな時代だから仕方ないですがそれが切なかつた。良い商品を妥協する事なく売りたい気持ちが強かったのです。』  
カフェは決して高額な物ではありませんが見切り品を出す事なく、お客様の『美味しい!』と言う笑顔が見えて毎日とても楽しいそうです。  
少年時代『天才野球児』と呼ばれ、野村克也さんと同期だった梅田さんの夢とは宮津に還暦野球チームを作る事と、宮津名物を作る事!だそうです。